

News Release

2015年4月28日

会社名 パイオニア株式会社
 代表者名 代表取締役兼社長執行役員 小谷 進
 (コード 6773 東証第一部)
 問合せ先 取締役兼常務執行役員 川尻 邦夫
 (電話 044-580-3211)

連結業績予想の修正についてのお知らせ

2015年2月9日に発表した2015年3月期連結業績予想について、次のとおり修正しますので、お知らせします。

(金額単位 百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常損益 | 当期純利益 |
|-----------------------|---------|--------|--------|--------|
| 前回発表予想 (A) | 515,000 | 12,500 | 4,000 | 18,500 |
| 今回修正予想 (B) | 501,500 | 7,800 | △2,900 | 14,600 |
| 増減額 (B-A) | △13,500 | △4,700 | △6,900 | △3,900 |
| 増減率 (%) | △2.6 | △37.6 | — | △21.1 |
| 2014年3月期通期実績 (ご参考) | 498,051 | 11,169 | 5,111 | 531 |

売上高については、カーエレクトロニクスにおいて市販市場向けの売上が計画を下回る見込みとなったことや、ホームAV事業およびDJ機器事業の譲渡により売上が減少したことなどから、前回発表予想を下回る見込みです。

営業利益は、売上減による売上総利益の減少や原価率の悪化に加え、事業譲渡の影響により、前回発表予想を下回る見込みです。

経常損益および当期純利益は、営業利益の減少に加え、米ドル高の進行による為替差損の増加により、前回発表予想に対してそれぞれ下回る見込みです。

見通しに関する注意事項

当発表資料中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されないようお願いします。また、当社は新たな情報や将来の事象等の結果としてこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向や当社が製品等を供給する業界の動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上するユーロ、米ドル、その他の通貨と円との為替レート、(3)競争の激しい市場において、顧客から受け入れられる製品を継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)他社との合併、提携またはその他の事業関係の成功、(6)資金調達能力、(7)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(8)製品に関する品質管理能力、(9)生産に必要な重要部品を継続して調達し得る状況、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

以上